

# 日本写真学会ニコンプラザ東京 THE GALLERY 企画展 山野 泰照『虚空の如くなる心 宇宙の絶景を求めて』 山野泰照氏ギャラリートークと作品展見学の会

【日時】2022年12月6日(火) 11:30—12:30

【主催】一般社団法人 日本写真学会「写真好き」のための定期講演会実行委員会

【協力】ニコンプラザ東京 THE GALLERY

【会場】講演会会場 ニコンプラザ東京 THE GALLERY

〒163-1528 東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー28階

## 【講演会形式】山野泰照氏ギャラリートークと作品展見学

■THE GALLERY 企画展 山野泰照作品展詳細ページはこちら

[https://www.nikon-](https://www.nikon-image.com/activity/exhibition/thegallery/events/2022/20221129_tgt.html)

[image.com/activity/exhibition/thegallery/events/2022/20221129\\_tgt.html](https://www.nikon-image.com/activity/exhibition/thegallery/events/2022/20221129_tgt.html)

## 【プログラム】

11:20 集合 ニコンプラザ東京 THE GALLERY 写真学会受付

11:30 講演会開始

12:30 講演会終了(自由解散)

## 作品展に対する作家のコメント

私は昔から天体を撮影することが好きです。

それは、人の目には暗すぎて見えない天体でも、撮影すればその姿を見ることができるようになるとか、拡大して撮影すれば細部まで見えるというような、人の目の能力を拡張して見たいものを見せてくれるのが魅力だからです。

最近はテレビ観望という、まさに電子の目(撮像センサー)を用いてリアルタイムで画像を蓄積し適切に処理することで、空が明るい市街地からでも暗い天体を見る、正確には暗い天体の映像を見ることが出来る機材や観測スタイルが人気です。

今回は、そういうテレビ観望と同様な方法で、最新の撮影機材や画像処理技術を用いることにより、市街地の自宅からさまざまな天体の美しい姿や色を狙った作品を紹介します。

静止画と動画の作品を通じて、肉眼では見えなくても空の向こうの宇宙には絶景があること、またそれを市街地からでも撮影することができる時代が訪れていることを感じていただければ幸いです。

(山野 泰照)



## 参加者の感想

今回の山野氏の作品展『虚空の如くなる心 宇宙の絶景を求めて』は、そのタイトルの西行法師が明恵(みょうえ)上人に語ったといわれる「虚空の如くなる心の上をいいて種々の風情を色どると雖(いえど)も更に蹤跡(しょうせき)なし」という境地を作者の心構えとして、「レンズの向こうには必ず美しい世界があることを信じ、科学を学び技術を獲得しながら日々の修行を続ける」との修行僧の様な境地で、撮り続けて作品を集めた企画展になっていました。

会場である THE GALLERY の奥正面には、作者が一番好きな月の 5 枚の大サイズプリントの作品が並び、その精細で美しい月面に魅了されます。鑑賞の後に、山野氏から月をより自然かつ美しく見せるための撮影や陰影を活かした画像処理の技術の説明があり、その技術と努力に感心させられました。両サイドには、星雲、星団の作品と身近な景色を入れた星景写真の作品が並び、作者から、被写体が目に見えない暗い星雲、星団は、その大きさによっては空の透明度や大気の揺らぎの影響などにより、満足な画質を得るのが難しいという特徴があるため、被写体の情報をできるだけ多く取得し、自然かつ美しく見せるための撮影から画像処理までの一連の技術の紹介があり、参加者の皆さんは、天体写真への関心が一層深まったと思います。また、静止画のパネル作品の展示以外に見ることができた大型ディスプレイで見る動画作品に対しては、記録や表現の手段として別の世界があることを感じました。

一方、最先端の技術を駆使しその時点で最高の出来栄えと思っても、技術が進化すればつまらないものになったり、美的感覚が変われば違和感が生じ、いつまで経ってもゴールには到達しない、そういう世界の中で、今後も日々修行を続けているという作者の覚悟を強く感じる鑑賞会になりました。

山野様、有難うございます。

### 【ギャラリートークと見学の様子】



大型ディスプレイで動画作品を説明している様子



THE GALLERY 奥正面の月面写真 5 作品



山野さんを囲んだ参加者記念撮影